

# トゲソ通信16号



- 発行 五泉トゲソを守る会  
〒959-1876 五泉市泉町2丁目1-37  
会長 高橋荘三 連絡先 Tel 0250-42-3956
- 事務局 中村吉則  
〒956-0862 新津市新町3丁目8-29  
Tel・fax 22-0271 Eメール togeso@beige.plala.or.jp
- ホームページアドレス  
<http://www.geocities.jp/gosentogesoo/index.htm>

## 目次

- 湧水小屋が完成 1p～3p  
第1回ワークショップ報告 2p  
11/7 湧水小屋の完成式 3p
- 清流スクール大盛況 4p  
石焼きピザづくり他 5p
- フラッシュレポート 6p～8p  
「水と緑の寄ったかり」発表  
第2回トゲウオ全国サミット  
塚野金松顧問が市勢功労
- トゲソの会・活動日誌 9p
- 地域の宝物／トゲソ物知りメモ 10p  
◆トゲソは、川の中に巣をつくり  
オスが子育てをする稀少淡水魚です。

### 湧水の里づくりの一步が始まる

## ■ 湧水小屋が完成する

今年の7月から進めて来た「湧水の里づくり」活動が実を結び、ついに11月にはトゲソの池脇に「湧水小屋」が建ちました。

11月7日には、その完成式があり清水の名前を「どばしっこしみず」と名付けました。

完成式では、看板の披露、絵馬の飾り付け、餅つきなどお祝い行事を行いました。



▲11月7日 竣工式の絵馬取り付け



▲10月10日 建前・ダンゴ撒き

## ■ 経過－7月に話し合い

この度の湧水小屋の建設は、セブン-イレブンの「みどりの基金」より助成を頂き進めてきました。

テーマは、トゲソが棲める清流の里づくり「地域自然湧水保全事業」というものでした。

経過は以下の通りですが、何よりも「九区明るい家庭作り協議会」と協働が進められたのが、大きなバックアップとなりました。



▼昔使っていた湧水の水場をどう復活させるか「九区明るい家庭づくり協議会」の皆さんと協議。事前の会議。

【事前の取り組み】

- 6/9 土堀・四ッ屋新の区長さんなどの役員に説明
  - 6/19 九区公民館運営委員の皆さんに説明。
  - 6/22 地元関係者と農家組合の皆さんに説明。
- ◇五泉市で初めての住民主体の「地域づくり」となる。五泉市より五泉アピール事業として支援をいただく。

■ 7月に3回の話し合い

第1回ワークショップ 九区公民館  
7月4日(日曜日) 9時半~12時



◇地域の宝物を発見しよう、地域を知ろう、と第1回のワークショップが7月4日に行

われました。

当日は、子どもを含めて90人の参加があり、6班にわかれて湧水見学など、ぶらぶらと現地歩きを行いました。

その後会場に戻り「地域の宝ものマップづくり」が行われました。

坂田様の庭にある大ケヤキが幹まわりで5m15cmもあり、おそらく五泉市内で一番の巨木ではないかという大発見もありました。



第2回ワークショップ 九区公民館  
7月4日(日曜日) 9時半~12時

◇2回目の話し合いでは、湧水小屋の計画案づくりを行いました。

また、「土堀・四ッ屋新地域の昔」というタイトルで、九区の地名や神社仏閣について報告がありました。その後、新潟ベトの会の柴田さんから「土堀の湧水について」という表題でこの地区の湧水の特徴などについて特別報告もありました。

終了後、お昼には、みんなでカレーライスをいただきました。



▲各班の湧水小屋プランに投票





**第3回ワークショップ 九区公民館  
7月4日(日曜日) 9時半~12時**

◇3回目のワークショップでは、湧水小屋のデザインを考えました。

まず、秋田県六郷町などの「湧水をテーマにした地域づくり」の事例を勉強し、デザインづくりの参考にしました。

これからつくる湧水小屋に対しては、大きさは1.5間×1.5間(4.5畳)、壁はつくらず柱だけのつくりとする、ベンチを据え付ける、水舟を設置するなどの意見がありました。また、湧水小屋の名前は投票ゲームを行った結果、昔から地元で使われていた「どばしっこしみず」に投票が集まりました。

**■ 湧水小屋の建設はじまる。  
11月7日に湧水小屋が完成**



その後の日程は、下記のとおりです。

9/22 10月の建設日程などを役員の皆さんと協議

10/2 建設の基礎工事と水留め矢板打ち

10/10 上棟式とダンゴ撒き。子どもたちによる記念のビー玉埋め。



11/7 湧水小屋建設看板披露と竣工式。九区公民館で餅つき祝賀会。



▲上段 餅つき 下段 看板除幕



▲湧水小屋の設計図

## ★夏-清流スクール大盛況

### ▼実施内容

- ◎日時 平成16年8月8日(日曜日)
- ◎場所 早出川右岸 太川橋下 赤羽地内
- ◎参加者 200名
- ◎体験活動 全体活動  
着衣泳体験(午前) カヌー体験(午後)
- ◎コース体験 Aコース ダンボール舟作り  
Bコース 石焼きピザ作り Cコース 投網・魚とりの指導



### ■ 開会式

ジリジリと暑くなるなか、スタッフを入れて200名近い参加者が集まり、開会式が始まりました。

開会式では、五泉トゲソを守る会の高橋会長から挨拶があり、それぞれ来賓の皆様から挨拶を受けた後、元気よく準備体操をして、「第4回清流スクール」を始めました。



### ■ 着衣泳の体験

全体の体験では川の事故対策として着衣泳の指導を行いました。今回も東京から指導者として君塚芳輝さんが来てくれました。君塚さんは、一人ひとり手にとって「着衣泳」のポイントを指導してくれました。

### ■ ダンボール舟作り

Aコースでは、事務局の用意したダンボールと設計図を見ながら、ダンボール舟をつくりました。親子で製作した後、「名前」や「記念の色ペイント」を塗って、さっそく進水式を行いました。



## ☆ 第4回「清流スクール」を実施して…

清流スクールは、今年で4回目を迎え、いままでになく大勢の200名近い方が参加してくれました。また、例年より1週間早くなりましたが、天候にも恵まれスクールを無事開催することができました。今年はNPO新潟水辺の会や阿賀野川沿いでいろいろな活動をしている阿賀野川連携ネットワークの皆さんと一緒に実施することができ、写真展やダンボール舟づくりと新しいイベントも試行されました。清流スクールは、地域にある川という財産を通して「川の接し方」「川の遊びと安全」「川のまちづくり」を考えると、三つの目標もっています。

今回は、みんなで楽しもうを全面に出した催しとなりましたが、今後は少人数でもじっくりと川と向き合う「清流スクール活動」も必要との反省がありました。



## ■ 石焼きピザ作り

Bコースは、これも初体験のピザ作りに挑戦してもらいました。やっぱり、食べ物は人気が高く30名余りが参加。

ダンボールに銀紙を張った簡易オーブンでピザを作りました。お昼には、いい匂いのするピザをみんなにいただきました。



▼おいしそうに、できあがった「ピザ」。どうぞー。

## ■ 投網と魚とりの指導

Cコースでは、阿賀野川漁業組合の応援もいただきながら、事務局が用意した「投網」の投げ方を練習していただきました。なかなか、投網がうまく開かず、苦労していました。

肝心の魚の姿はあまり見えず、カジカなどの魚がとれました。



▲大人顔負けの見事な投網

## ■ お昼／豚汁

楽しかった遊びの後はぐっとお腹も空きます。

トゲソの会のサポーターが作ってくれた大鍋の豚汁、川魚、スイカなどを一緒に食べながら、ひとときを過ごしました。



## ■ カヌー教室／写真展／魚類説明

ご飯を食べた後は、まだまだ元気の子もたちを中心にカヌーの体験をしました。親子で乗る方、兄弟で乗る子、友達同士で乗る子どもと初体験のカヌーを楽しみました。初めは、パドルもぎこちがなかった子どもたちもあつという間にうまく漕げるようになりました。

清流スクールの最後は、この日捕獲された早出川の魚について説明がありました。アユ、カジカ、ウグイ、ヤリタナゴ、オイカワなど16種類の魚類が捕獲されました。



☆ フラッシュ・レポート

活動の報告／交流の報告／トピックス

① 8月29日

第2回「水と緑の寄ったかり」発表  
グランプリ「水縁賞」獲得



▲陸に上がったトゲソ。グランプリをいただく

◇8月29日に新潟県新潟地域振興調整会議が中心となった「にいがた水と緑ワークショップ実行委員会主催」の「第2回水と緑ワイワイがやがや寄ったかり」発表会が新潟で開かれました。

トゲソの会は、昨年に続いて2回目の参加でした。発表内容は、第4回清流スクールでしたが、何とグランプリにあたる「水縁賞」を頂きました。

この日、参加したのは高橋会長を含めて3名でしたが、トゲソの帽子を被ったり、水中眼鏡やダンボール舟の格好をしてパフォーマンスをしたことが印象度を高めたようです。

また、4回となる地域の財産である川を磨く継続的な活動についても評価を受けました。副賞として朝日酒造の最高のおいしい酒をいただき、(陸に上がった)トゲソもうれしがっていました。

(◆報告 中村世話人)

- 会費 振り込み郵便 口座番号  
00510-2-23346
- 加入者名 五泉トゲソを守る会
- 会費 1年間1,000円です。

② 9月24日

トゲウオを通じて日本の水環境を考える  
第2回トゲウオ全国サミット in Onoに参加

9月24日(金)・25日(土)に福井県大野市で第2回トゲウオ全国サミット in Onoが開催されました。

日本には、イバラトミヨをはじめとしてトミヨやイトヨなどトゲウオと呼ばれる魚が生息しています。トゲウオの仲間は、一般に水温が20℃以下で流れの緩い場所を好むため、本州では北緯35℃以北の湧水域にトゲウオが生息しています。しかし、イバラトミヨをはじめとして日本のトゲウオは、河川や湧水環境の変化により、近年急速に減少しています。このような現状に対して、1995年に山形県東根市で第1回のトゲウオ全国サミットが、2002年には岩手県大槌町ではイトヨサミットが開催され、自然と共生する町づくりについて議論されてきました。



▲大野市有終南小学校のイトヨの寸劇

大野市は「清水(しょうず)」の街

今回サミットが開催された福井県大野市は、街のあちこちに湧き水があふれる情緒豊かな城下町です。数多くの湧水地のうち、「本願清水(ほんがんしょうず)」と呼ばれる湧水地は、昭和9年に淡水型イトヨの南限の生息地として国の天然記念物に指定されています。

大野市では、淡水型イトヨの保護と水環境の学習の場として、「本願清水イトヨの里」をつくるなど、自然と共生する町づくりに取り組んでおり、トゲウオから日本の水環境を考えようと、第2回トゲウオ全国サミットが開催されました。

サミットには、秋篠宮殿下が御臨席され、秋田県



から岐阜県まで全国各地でトゲウオの保護活動に携わっている方々が参加しました。新潟県からは、新発田市の加治川ネット21と五泉トゲソを守る会の会員が参加しました。

サミットは、まず歓迎レセプションで幕が開きました。レセプションには、秋篠宮殿下が招かれ、福井県指定無形民族文化財の「神子踊り」が披露されるなど盛大に行われました。トゲソを守る会の会員は、トゲソの帽子をかぶり、参加者の注目を集めました。また、加治川ネット21の会員は、殿下のグラスにビールを注ぎ、なごやかに歓談をされるなど、レセプションから大いに盛り上がりました。

### 「トゲウオ学」を提唱された秋篠宮殿下



★25日のサミットでは、総合地球環境学研究所の秋道教授や文化庁の花井主任文化財調査官による講演があり、秋道教授はトゲウオを人間の暮らしや歴史とともに考えれば、地域独自の物語りとしての「ビオストーリー」ができ、ビオストーリーを日本各地で語りあうことが大事であると述べられました。また、花井調査官は、身近な自然環境を守っていくには、行政と地域住民が協働し、果敢に行動する必要があると話されました。

講演の間には、大野市有終南小学校の子供達が総合学習の成果を寸劇で発表しました。イトヨを通じて学んだ水環境の素晴らしさ・大切さを子供達が真剣に訴える姿に、参加者の多くが感動の涙を浮かべました。

その後、保護活動の現状が、会津イトヨ研究会の山中代表と、秋田県のハリザッコを守る会の神宮字さんから報告され、活動報告に引き続き、パネルディスカッションが行われ、全国各地で行われているトゲウオの保護活動の現状と問題点を論議されました。パネルディスカッションには、樋口世話人がパネラーとして参加しました。パネルディスカッ

ションを通して、トゲウオが直面している現状は、各地で異なっていましたが、トゲウオや水環境を守っていくには、地域住民と行政、学識者が連携した活動の必要性が認識されました。

サミットの閉会にあたり、秋篠宮殿下から、素晴らしい水環境を守っていくために、生物学的な視点だけではない、地域の文化、歴史も含めた「トゲウオ学」の構築が必要ではないかというお言葉をいただき、盛会のうちにサミットは幕を閉じました。

(◆報告 樋口世話人)

## ③ 10月2日

### 地域の在来・固有の野生生物を守ろう 「生物多様性保全ネットワーク新潟」が設立

10月2日(土)に「生物多様性保全ネットワーク新潟」という新たな団体が設立されました。

「かけがえのない自然」と大切さが唱えられながら、新潟県でも在来・固有の野生生物の多くが絶滅の危機に瀕しています。そのため、県内各地で多くの団体・個人が野生生物を守る活動を行っていますが、それぞれの団体・個人だけでは解決できない様々な課題が多くあります。そこで、県内の団体・個人が互いの情報を交換し、活動の連携を深めるために、新しい団体をつくることになりました。

新潟市鳥屋野地区公民会で行われた設立総会では、規約、役員体制などの討議や活動報告が行われ、代表に諸橋潔さん(自然観察指導員の会他)、副代表に松木保さん(ねっとわーく福島潟)、事務局長に井上信夫さんが(ゆきぐに自然塾)選出されました。五泉トゲソを守る会もこのネットワークの会員となり、世話人の樋口正仁が副代表に就任しました。また、総会では、樋口世話人が「イバラトミヨと取りまく現状と地域連携」という活動報告を行いました。

このネットワークの特徴としては、魚類、鳥類、植物、昆虫、ほ乳類、地質、環境教育などの大学教授や専門家29名の顧問と、専門部会という形で連携活動を進める体制をとっていることがあります。

2005年の3月19日(土)には、「今、野山で何がおきているのか・・・人と野生動物共存の道をさぐる!」という内容で第2回生物多様性シンポジウムが予定されています。

(◆報告 樋口世話人)



## ④ 11月13日

### 4回目 トゲソの個体数調査を実施



今年度もトゲソの主要生息場所である土堀と猿和田の水路で個体数調査を実施しました。調査はトゲソの会員と新潟県ビオトープ管理士会の方などの協力を得て、一日かけて行いました。

方法は、水路の上下流を網で仕切り、その中にいるトゲソや他の魚類、水生生物等の捕獲を行い、個体数や全長を計測後、また元の水路に放流しました。

その結果、トゲソの個体数は土堀、猿和田ともに昨年と比較して大幅に増加していました。トゲソの他にはスナヤツメ、ホトケドジョウ、シマドジョウ、ドジョウ、ウグイ、アブラハヤ、ヤリタナゴ、メダカが確認されました。

土堀では、4年前に創出した保護池で多数のトゲソが確認され、トゲソの生息場所として機能していることがうかがわれました。しかしながら、現在かかえる大きな問題もあります。土堀の水路全体に外来種であるコカナダモが繁茂し、在来種のミクリを駆逐しています。このコカナダモがトゲソにとってどのような影響を与えるかはまだはっきり分かりませんが、昔から生息しているトゲソにとっては、昔と同じような環境が一番いいと考えられます。

これからも元の環境に戻るようにコカナダモの駆除を続けていきたいと思えます。

猿和田ではトゲソの他に、スナヤツメ、ホトケドジョウ、シマドジョウ、メダカが確認されました。猿和田も個体数は増加したのですが、水質環境が悪化しているように感じられました。猿和田の水

源は主に農業排水ですが、それでも、数箇所湧水があり、水質も良好な状態に保たれていましたが、今回の調査では、湧水は確認されず、その影響で水質が悪化していたように考えられました。また、水路の底には泥が堆積し、異臭もありました。来年度は、水路管理ということで、定期的な泥上げが必要と感じました。

寒い中での調査でしたが、調査に協力していただいた方々に感謝申し上げます。この調査で得た資料は、今後の保護活動に役立てていきたいと思えます。 (◆報告 齊藤世話人)

## ⑤ 11月26日

### 塚野金松顧問が市勢功労表彰



▲市長より表彰を受ける塚野顧問

当会の顧問塚野金松さん(土堀)が、平成16年度の市勢功労者として表彰されました。

表彰の内容は、「環境保全功労」で長らく自然観察指導員として活躍されていたことや、トゲソの発見などに功労があったものです。

おめでとうございます。

塚野さんは、しばらく体調を崩されて入院されておられましたが、徐々に回復しており、当日も直接市長より表彰を受け取られました。

#### インターネットでトゲソに会ってください

##### ■ ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>

##### ■ 会員の皆様 e-mailアドレスをお知らせください。案内と情報をお届けします。



# トゲソの会・活動日誌

2004年6月～12月まで



★もう、04年も終わりが近づいてきました。  
活動も夏から秋にかけて様々なとりくみがありました。  
6月から11月までの取り組み内容です。



▲10/3 生涯学習フェスティバル展示ブース

## 【8月】

- 8/7 「清流スクール」FM新津アナウサーと打ち合わせ 君塚さん他講師迎え 夜川原にて歓迎会6名
- 8/8 第4回清流スクール 200名参加 早出川川原 カヌー教室他
- 8/11 新津地域振興事務所 県民だより取材
- 8/23 九区公民館「納涼会」2名参加
- 8/29 第2回「水と緑の寄ったかり」発表 グランプリ「水縁賞」獲得
- 8/30 新津地域振興事務所聞きとり取材 環境部門登録「団体」聞き取り

## 【9月】

- 9/3 清流スクール反省会 新津市5名
- 9/9 第6回トゲソを守る会世話人会開催
- 9/13 顧問塚野金松さんを市勢功労者として会から推薦
- 9/20 「新潟県自然・環境保全連絡協議会」の総会 ユニゾンプラザ
- 9/21 早出川土地改良区と協議 3名
- 9/22 湧水の里づくり「九区役員会」
- 9/24 第2回トゲウオ全国サミット福井県大野市樋口他2名参加 歓迎レセプション出席 25日に樋口バネラー参加
- 9/27 第2回生涯学習フェス実行委員会

- 9/28 五泉南小学校 新発田市イシャジャ生息地訪問 トゲソの会より2名支援
- 9/29 大野市訪問 五泉市教委へ後援申請
- 9/30 五泉川東小へ トゲウオ大使派遣募集のチラシ配布と募集

## 【10月】

- 10/2 湧水小屋作り 矢板打ち作業9名参加  
" 生物多様性保全ネットワーク設立総会 活動報告 樋口
- 10/3 湧水小屋作り 基礎・コンクリート橋かけ 8名参加
- 10/3 生涯学習フェスティバル展示ブース出展 水槽展示 3名参加
- 10/6 新潟日報「緑の守り人」掲載
- 10/10 湧水小屋上棟式 ダンゴ撒き9名 全体で40名
- 10/17 川東小学校文化祭 4年生トゲソの発表(総合的学習)
- 10/21 佐藤教育長へ陳情 4名「親書の依頼」

## 10/23 新潟中越地震 震度7 高速道閉鎖

- 10/26 川東小学校 参加児童12名へ葉発送 地震の対応他
- 10/30～31 北陸連携大野市の訪問・五泉トゲソを守る会24名(内川東小児童12名) ・中条イバラトミヨ・水芭蕉の会 3名 ・加治川ネット21 3名 計30名訪問

## 【11月】

- 11/3 旗野住建と竣工式の打ち合わせ
- 11/5 生涯学習フェス反省会 総合会館 来年度に向けた打ち合わせ
- 11/6 阿賀野川流域連携フォーラム 鹿瀬町豊実 高橋 中村
- 11/7 湧水の里づくり「湧水小屋」竣工式 看板披露 祝賀会 約40名 トゲソ12名 加治川ネット21 2名
- 11/10 川東中学校 トゲソの学習 高橋他
- 11/13 土堀猿和田トゲソの生息調査 10名 新潟県ビオトープ管理士会様2名支援
- 11/18 第7回トゲソを守る会世話人会
- 11/26 五泉市市勢功労表彰式 図書館 顧問 塚野金松さん「環境保全功労」として表彰される。
- 11/26 北中総合学習支援 加藤 瀬倉

**地震に負けず がんばろう!**

12月

地域の宝物(4)  
タイコウチ

☆11月のトゲソの生息調査で珍しい生き物に出会うことができました。

カメムシ科「タイコウチ」です。昔は、田んぼの水辺にどこにでも見られたものですが、最近、さっぱり見ることができなくなった水生昆虫です。前脚に、見事な捕獲脚を持っており、これで小魚を捕まえるようです。



★タイコウチ：カメムシ科タイコウチ科。  
ツクでは、絶滅危惧I類です。新潟県のレッドデータ種。

▲トゲソの里の生き物

また、一緒にコオイムシも確認されました。コオイムシは、その名のとおり、オスが子を背中におんぶして育てるめずらしい水生昆虫です。

☆会情報



■地震で延期となっていた「第2回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会」が下記の日程で開催されます。

期 日：平成17年1月29日(土)

時 間：13:30~16:00(予定)

会 場：ホテルニューオータニ長岡

発表会では、樋口世話人が助成結果の報告を致します。新しい、「分布南限域のイバラトミヨの遺伝的特徴」がはじめて明らかにされます。申し込みは会へ。

トゲソ物知りメモ  
名前編(4)



★トゲソは イバラトミヨの五泉市周辺の呼び名です。トゲソのほかに、トゲシやトゲシなど五泉市周辺だけでも10以上の呼び名があります。新潟県内では、中条町や新発田市ではイシャジャ、山形県遊佐町ではトゲヨやトゲオと呼ばれ、棘や針にちなんだ呼び名が多くなっています。あなたがお住まいの地域では、トゲソのことを何と呼んでいますか。

お元気ですか

◆いよいよ、年末となってきました。今年は、「災」の年でした。7月に三条地域に大水害があったかと思うと、11月には中越地震と、いろいろな自然災害が続きました。会員には、長岡市の方もいらっしゃいます。お見舞い

申し上げます。でも、新潟は「地震に負けず！がんばりたい」と思います。

◆振り返ってみると、今年はトゲソを守る会にとっても大きな二つの仕事を成し遂げた忙しい年でした。土堀の「湧水の里づくり」は報告のとおりです。大野市へ訪問した「北陸連携事業」については、次号でご報告したいと思います。来年は、皆様方にとって良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

編集 中村 連絡先 TEL・fax 0250-22-0271 Eメール togeso@beige.plala.or.jp